

十三参りと子ども豆まき

平成26年生



三鬼大権現は大同元年（806年）に弘法大師が弥山でご修行の砌、当山鎮護、仏法擁護のために勧請された当山の鎮守であり、大日如来、虚空蔵菩薩、不動明王の化身とされています。その中でも虚空蔵菩薩は弥山のご本尊でもあり、弘法大師が修され、飛躍的に記憶力を増大させたといわれる虚空蔵求聞持法に由来します。

十三参りは数え年で十三歳になった子どもが、古来より虚空蔵菩薩の化身三鬼大権現に参拝する事で、智恵・福德を授けてもらう習慣があり「智恵もらい」「智恵詣り」と言われております。また十三歳を区切るのは、生まれた年の十二支からひと回りする年を「十二支の還暦」とも言われており最初の厄年とされることもあります。子どもが成長する過程で七五三と同様、通過儀礼として盛んに行なわれていました。

当山では三鬼大権現御宝前にて子どもさんの「十三参りの御祈祷」を厳修した後、「子ども豆まき」を致します。お子様の健やかな成長を願い是非、お誘い併せの上ご参拝くださいますようご案内申し上げます。

日程 令和8年2月8日（日）

10時30分 集合

11時より 智恵福德十三参り御祈祷

12時より 子ども豆まき（景品付）

祈願料 お一人様 10,000円（特別祈祷札・記念品授与）

準備の都合上、キャンセルによる返金は前日までといたします。

お申込み・お問合せは 大聖院

〒739-0592 広島県廿日市市宮島町210

TEL 0829-44-0111 Fax 0829-44-0428

E-mail misen806@daisho-in.com



『十三参り』と『子ども豆まき』参加申込書

ふりがな 氏 名		保護者氏	
TEL		〒	性別
住所			生 年 月 日 平成26年 月
祈 願 料	10,000（納 ・ 未納）	本坊 ・ 電話 ・ 郵便 ・ FAX	扱 者